

令和8年度 奈良県森林技術研究評議会 試験研究事後評価結果（総合評価）

第1課題： キハダ小径木の材利用の試み（R5～R7年度）

評価項目	達成度	委員数 (人)
研究目標の達成度	A：十分達成された（達成度80%以上）	1
	B：おおむね達成された（達成度60%以上、80%未満）	2
	C：部分的に達成された（達成度40%以上、60%未満）	
	D：達成に至らなかった（達成度40%未満）	
研究成果利活用の見通し	A：十分に利活用できる	1
	B：部分的に利活用できる	2
	C：利活用が難しい	
	D：利活用が判断できない	

第2課題： 広葉樹コンテナ苗生産技術の検討（R3～R7年度）

評価項目	達成度	委員数 (人)
研究目標の達成度	A：十分達成された（達成度80%以上）	
	B：おおむね達成された（達成度60%以上、80%未満）	
	C：部分的に達成された（達成度40%以上、60%未満）	3
	D：達成に至らなかった（達成度40%未満）	
研究成果利活用の見通し	A：十分に利活用できる	
	B：部分的に利活用できる	3
	C：利活用が難しい	
	D：利活用が判断できない	

第3課題： 確実なきのこ発生を目指したバカマツタケのシロ形成法の検討（R6～R7年度）

評価項目	達成度	委員数 (人)
研究目標の達成度	A：十分達成された（達成度80%以上）	
	B：おおむね達成された（達成度60%以上、80%未満）	2
	C：部分的に達成された（達成度40%以上、60%未満）	1
	D：達成に至らなかった（達成度40%未満）	
研究成果利活用の見通し	A：十分に利活用できる	
	B：部分的に利活用できる	1
	C：利活用が難しい	2
	D：利活用が判断できない	

第4課題： 奈良県内における伐採・造林一貫作業システムの工程調査（R6～R7年度）

評価項目	達成度	委員数 (人)
研究目標の達成度	A：十分達成された（達成度80%以上）	
	B：おおむね達成された（達成度60%以上、80%未満）	
	C：部分的に達成された（達成度40%以上、60%未満）	3
	D：達成に至らなかった（達成度40%未満）	
研究成果利活用の見通し	A：十分に利活用できる	
	B：部分的に利活用できる	1
	C：利活用が難しい	1
	D：利活用が判断できない	1

第5課題： 奈良県産スギ大径材から採材した枠組壁工法部材の性能評価（R5～R7年度）

評価項目	達成度	委員数 (人)
研究目標の達成度	A：十分達成された（達成度80%以上）	2
	B：おおむね達成された（達成度60%以上、80%未満）	1
	C：部分的に達成された（達成度40%以上、60%未満）	
	D：達成に至らなかった（達成度40%未満）	
研究成果利活用の見通し	A：十分に利活用できる	2
	B：部分的に利活用できる	1
	C：利活用が難しい	
	D：利活用が判断できない	